

進路通信 No. 5

2020.9.1
久慈工業高等学校
進路指導部発行

社会が求めていて、私たちに足りない「力」はなにか？

7月1日から求人受付が始まり、7月13日には1000件を超え、8月28日は1433件に到達しました。しかし、ここでわかつてほしいのは求人が多いから内定も多いとは限らないということです。君たちが求人を選ぶのではなく、会社が君たちを選んでいるのです。努力なくして内定はありません。来週から前期末考査が始まります。例年とは違う今年、君たちの本気が試される時です。

さて、今回は題名にも書いた、足りない「力」について話していきます。

① 社会人になったらどんな「力」が必要？

よく「今、勉強しているのって社会で使うの？」と生徒に聞かれるが、その考え方自体が社会に出てからの生き方に大きく関わってくると思う。基礎的な学力や専門的な知識をもっていることはもちろん、それらをうまく活用していく力も必要だと言われている。経済産業省ではそれを「社会人基礎力」と呼び、具体的に次の3つの能力をあげている。

「前に踏み出す力(アクション)」1つめは、一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力。

そんな力が発揮される高校生活の場面として、例えば、部活動で試合に負けた時を思い浮かべてほしい。ただやるのではなく、次の試合で勝つために自ら進んで練習メニューを改善し、周りの部員を巻き込んで粘り強く努力していく。この力があれば社会に出て失敗しても乗り越えることができます。

前に踏み出す力 (アクション)

～一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

「考え抜く力(シンキング)」2つめは、目の前のことに対する疑問を持ち、考え抜く力。

この力のある人は、例えば、校則に不満がある時も、ただ文句を言うだけではないだろう。その校則にどんな問題があり、どう校則を変えるとよいかを考え、生徒総会で働きかけるはずです。社会でも、「例年通りでいいや」ではなく、常に自分で問題点をみつけて改善していくことができるはずだ。

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

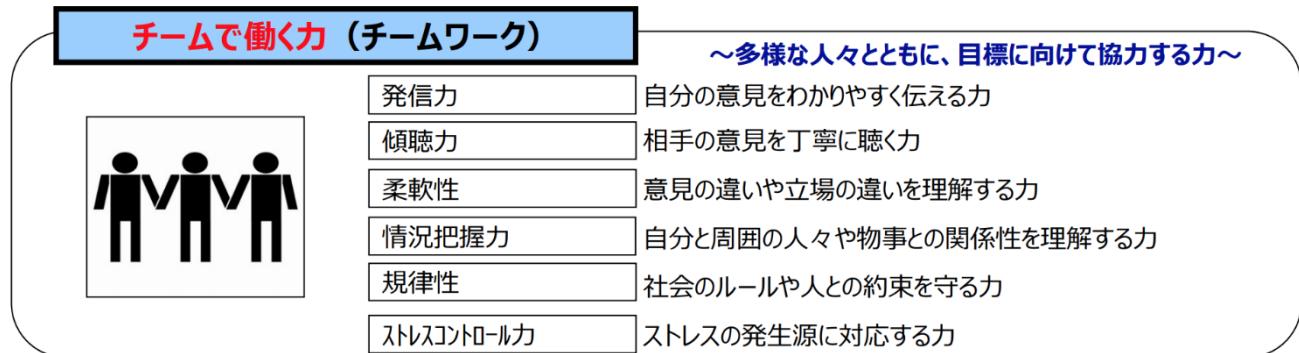
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

「チームで働く力(チームワーク)」 3つめは、様々な個性を持つ人たちと共に、目標に向けて協力する力。

この力を持っていれば、文化祭で、クラス全員で出し物をする時、好みや考え方が人によってバラバラである。それでも、自分の意見をきちんと伝え、人の意見にも耳を傾けながら、まとめ上げて良い出し物が作れるだろう。社会でも、目標に向けて共に協力し成功させることができる人間になります。



② 人生100年時代に求められる社会人基礎力

実は、以上の3つは、経済産業省が2006年に、ニートなどの若年無業者が社会問題化してきたものである。そして時は流れ、2018年。日本は健康寿命が世界一の長寿を迎え、今度は「人生100年時代における社会人基礎力」というものができた。考え方は、以上の3つの能力は変わらず、新たに以下の3つの視点が加わった。

「何を学ぶか(学び)」 何を学ぶべきか自分自身で考え、学び続ける力

「どのように学ぶか(組み合わせ)」 多様な体験・経験、能力、キャリアを組み合わせ統合する力

「どう活躍するか(目的)」 自己実現や社会貢献に向けて行動する力

人生100年時代において、「時代やライフステージに応じて、常に学び続け、自らを振り返りながら、必要なスキルをアップデートしていく」ことが求められる。ようするに、「今、勉強しているのって社会で使うの?」と言うのは、今、学ぶことをやめてしまったら、これから先も学ぶことをしないということだ。

就職がゴールではありません。社会人のスタートです。その前に、社会人基礎力のスキルを高校生のうちから磨いていきましょう。自分のキャリアを創り上げるのは自分自身だということを忘れず、新たな一步を踏み出しましょう。



9月の進路に関する行事

2年生 15日(火) 進路職業適性検査

9月実施の検定等

11日(金) 基礎製図検定